

安全の手引き

サモア

《 目 次 》

- I はじめに

- II 防犯の手引き
 - 1 防犯の基本的な心構え
 - 2 サモアにおける最近の犯罪発生状況
 - 3 防犯のための具体的注意事項
 - 4 緊急連絡先等一覧
 - 5 緊急時のサモア語

- III 緊急対処マニュアル
 - 1 平常時の準備
 - 2 緊急時の行動
 - 3 緊急事態に備えてのチェックリスト

令和 7 年 1 1 月改訂

I はじめに

この安全の手引きは在留邦人や旅行者の皆様がサモアで安心して滞在・生活できるよう、留意事項をまとめたものです。これらの情報がサモアでの生活や滞在の参考になれば幸いです。

II 防犯の手引き

1 防犯の基本的な心構え

サモアの治安は比較的安定していますが、安心して滞在するためにも、日頃から安全情報を確認し、自分の安全を守るための意識を持って行動することが大切です。

2 サモアにおける最近の犯罪発生状況

サモアでは銃器を使用した凶悪犯罪は少ないものの、空き巣や車上荒らしなどの住居侵入・窃盗が増加傾向にあり、被害は在留邦人や外国人に限らず広く一般に及んでいます。薬物関連の報道も増えており、面識のない人から声をかけられた際は応じず、外出先では飲食物の管理にも十分注意が必要です。傷害事件の多くは飲酒が関係しており、女性を狙った性犯罪も報告されています。酒に酔った人が集まる場所ではトラブルに巻き込まれる可能性が高いため、夜間の外出時は周囲に十分注意して行動しましょう。

3 防犯のための具体的な注意事項

(1) 住居防犯対策

①住宅選びのポイント

- 地域の治安情報を収集し、周辺住民の生活環境や状況を確認してください。
- 家の四方のうち、なるべく三方は別の住宅に囲まれているものが望ましいです。
- 住宅決定前に行う物件確認と事前交渉の際、住宅の内装等を気に入っていたとしても、家主が防犯設備の改善に消極的な場合や、その他の改善要求に対応する意向が見られない場合はその物件を選ばないことも選択肢の1つです。

【入居前に行う住宅確認例】

- (例1) 玄関ドアの鍵などの防犯設備を強化する。
- (例2) 入居前に壊れている設備などの修理を行う。

②住居侵入窃盗を防止するための対策

- 一般的に、犯罪者は侵入が比較的簡単な住宅をターゲットにする傾向があるため、**周囲の住宅より自宅の安全対策が甘ければ、自宅が標的になる可能性が高くなります。**
- 近隣住宅の防犯状況を参考にしながら、自宅の安全対策を見直し、必要に応じて補強することが大切です。
- 住居の安全対策は定期的に見直しが必要です。(例：月に1回程度)
- 住居の安全を確保するには、住宅に3つの防衛ラインを設定し、適切な対策を講じることが効果的です。

【防衛ラインの考え方】

◇第1次防衛線（家の外側にある最初の防犯ポイント）

⇒一戸建てなら門や堀、集合住宅なら建物の共同出入口（ロビーの外側扉など）

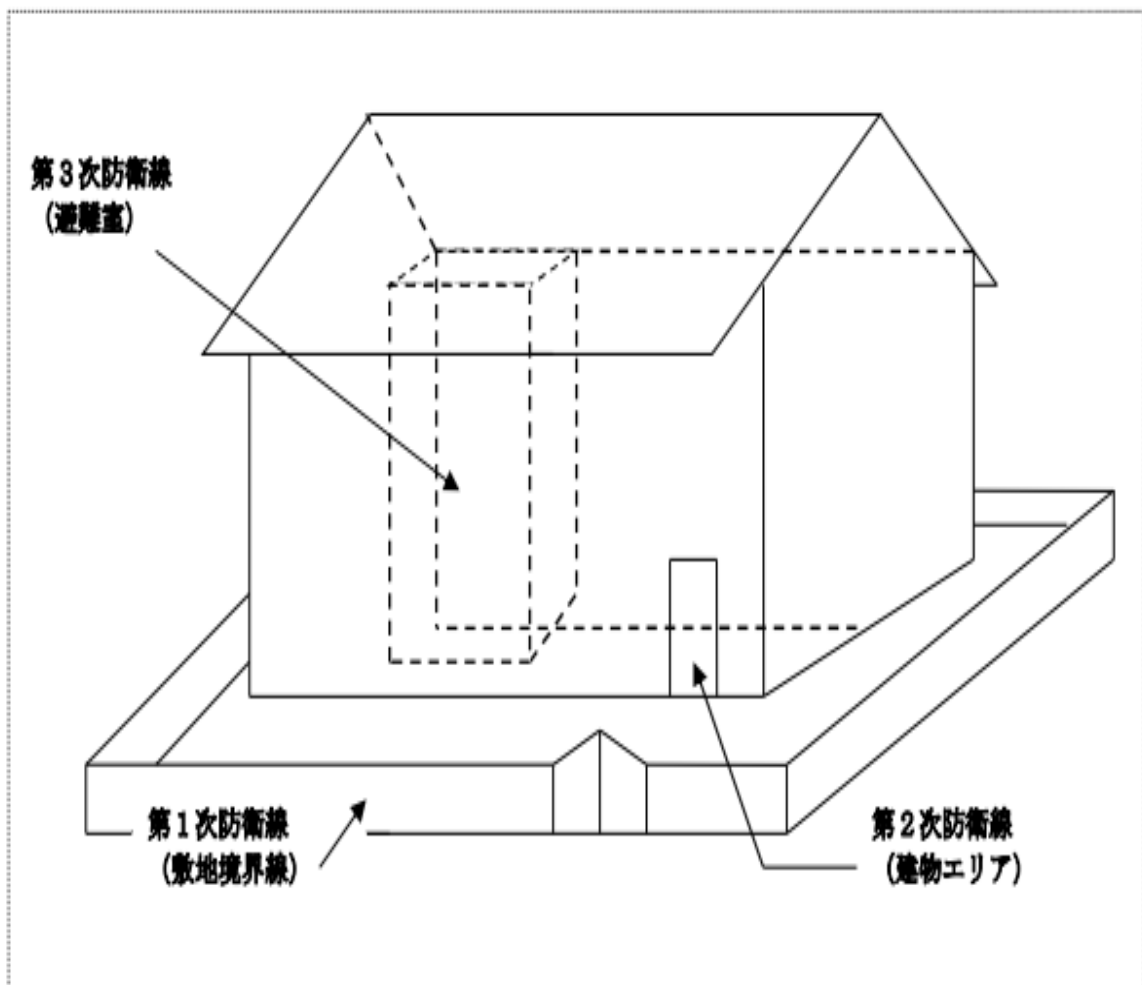
◇第2次防衛線（住宅の建物そのものを守る防犯ライン）

⇒一戸建ての場合は、建物の外壁に沿った部分（玄関、窓、勝手口などの出入口が対象）
集合住宅の場合は、各住宅の玄関や窓その他通用口等、住居部分の外周。

◇第3次防衛線

⇒一戸建て・集合住宅問わず、通常は主寝室（ベッドルーム）を避難区域に設定。

【イメージ図】



第1次防衛線の安全対策

●外壁

最初の防衛線であり、侵入者が簡単に侵入できないような構造にする必要があります。外塀は、コンクリート、ブロック、レンガなどの堅牢なものにし、2m以上の高さが望ましいですが、そうでない場合には、最低限垣根やフェンス等で家の周りを囲われているような構造となっている物件が効果的です。外塀の上に防犯灯があれば、侵入者は他人に発見されることを恐れ、心理的に侵入をためらうので**防犯灯の設置は極めて効果的です**。

●門扉

外塀と同様に堅牢なものが望ましいです。門扉には南京錠のような 簡単な鍵は避け、必要であれば二重に鍵を付けてください。また、来訪者等を確認する手段としてインターホンを設置することが望ましいです。可能であれば、警備員を配置することも非常に有効です。

●駐車場（車庫）

駐車場は、住宅を選ぶ時に重要な要素の1つとなります。駐車場は住宅の敷地内にあり、部外者が簡単に入れない構造になっている必要があります。

第2次防衛線（建物エリア） 第1次防衛線（敷地境界線） 第3次防衛線（避難室）また、駐車場内に侵入者が潜めるような場所がないか確認が必要です。更に駐車場内外には防犯灯としての照明設備は非常に効果的です。

●庭と建物外周

照明設備を設け、侵入者が身を潜めやすい暗がりを作らないことが大切です。庭の植え込みや樹木は日頃より良く整備し、室内から庭全体に不審者や不審物がないか見渡せるようにしておくことも肝要となります。また、2階への足場となるような梯子、椅子、箱類を屋外に放置しないようにしてください。

第2次防衛線の安全対策

●入り口扉（玄関）

玄関の扉と扉の枠は頑丈なものとし、スチール製、金属製が最良です（木製の場合、一枚板で厚さ5cm以上のものが望ましいです）。そして扉には錠前を2つ以上付け、扉を開けずに来訪者が確認できるように覗き穴を設置するほか、チェーン錠を設置することも一案です。

●その他の出入り口

通用門などの家屋への出入り口についても、玄関と同程度の安全対策が必要です。

●窓

侵入者にとって窓は格好の侵入経路です。可能であれば全ての窓（トイレの小窓、冷暖房器具の取付け口などをも含む）には鉄格子の取り付けが望ましいです。なお、一般に鉄格子は室内側に取り付けた方が防犯対策上効果的です。また、火災などの発生を考慮して、鉄格子に内部より開閉できる部分（脱出口）を作っておくことが望ましいです。

●建物 屋根、屋上、隣家のテラス、非常階段からの侵入者の侵入は盲点となりやすいので十分注意する必要があります。建物の防犯強化手段として、隣接する建物から侵入が容易な場所への鉄柵等の設置、その他侵入警戒装置や警報装置を設置することなどが考えられます。また、**テラスの照明を点灯させることも防犯対策上有効です。**

第3次防衛線の安全対策

第1次、第2次防衛線を侵入者に突破されて侵入される事態を想定し、避難や警察等へ通報する時間を稼ぐために、避難室を設置する必要があります。一般に避難室は主寝室（ベッドルーム）になりますが、可能であれば室内にも電話を設置し、**緊急連絡先リストを備えると効果的です。**

近隣関係

大家を始めとした近所付合を良好にし、不審者が来た場合の通報等が出来るよう、協力関係を構築してください。

在宅時の留意事項

- 在宅時に必ず施錠してください。
- 来訪者があった場合は、付近に不審な車がないか確認し、インターホンやドア越しで対応しましょう。その際、来訪者の身分や要件を必ず確認してください。
- 就寝時は寝室に鍵を掛け、電話や携帯電話などの通信手段を手元に置いておきましょう。
- パソコンや貴重品等は窓の外から見える場所に置かないようにしてください。

不在時の留意事項

- 日中・夜間を問わず、外出する際は必ず施錠してください。
- 長期間留守の場合は、隣人や家主に見回りを依頼し、貴重品は金庫等の安全な場所に保管しましょう。

住居侵入被害にあった場合の措置

- 速やかに警察（911）へ連絡してください。
- 警察の鑑識活動のため、被害場所や、遺留品には触れないでください。

(2) スリ、置き引き、ひったくり被害の防止

- ①空港・ホテルロビー等では、所持品は常に自分の身の回りに置き、目を離さないようにしましょう。
- ②ズボンのポケットなどに財布や貴重品を入れないようにしましょう。
- ③多額の現金や貴重品は持ち歩かないようにしましょう。
- ④歩道を歩く際、バックなどは車道と反対側に持ちましょう。
- ⑤ATMを利用する際は、周囲に不審者がいないか確認してください。また、暗証番号を入力する際に、手で隠して他人に覗かれないように注意しましょう。
- ⑥見知らぬ人に声をかけられた場合は、基本的に対応しないようにしましょう。

（３）車上荒らし被害の防止

- ①車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- ②短時間の駐車であっても必ずドアロックをしてください。
- ③警報ベルや、ハンドル固定器具などの防犯機器を備えましょう。

（４）強盗犯罪被害防止

強盗の被害にあった場合は、決して抵抗せず、犯人の人相、着衣、人種、逃走方向、車両ナンバー等を記憶し、速やかに警察に通報してください。

（５）性犯罪被害防止

- ①夜間の一人歩きは避けましょう。
- ②見知らぬ人からの誘い（英会話指導、食事、観光案内など）には応じないでください。
- ③タクシー乗車時、運転手に聞かれても個人情報には明かさないようにしましょう

（６）薬物犯罪の防止

- ①バーなどで薬物の使用や購入を持ちかけられても絶対に応じないでください。
- ②たとえ合法的な薬物と勧められても、薬物には一切手を出さないでください。

（７）宿泊施設での盗難防止

- ①セキュリティの整った宿泊施設を選び、貴重品はセーフティーボックスに入れるか、ホテルのフロントに預けてください。
- ②在室時は、必ずドアチェーンを掛けましょう。ボーイやルームサービスに対しても不用意にドアを開けないでください。

（８）交通事情と事故対策

サモアでは飲酒運転に起因する交通事故が多く発生しているので、これらの事故に巻き込まれないように注意が必要です。

幹線道路はアスファルトで舗装されていますが、アスファルトが剥がれ大きな穴が開いている箇所もあるので、運転には細心の注意を払ってください。

警察官が車を停止させ、違反したなどと根拠のない主張をして直接その場で罰金の支払いを要求するといった金銭を騙し取る事案も発生しています。サモアでは交通違反に対しては、違反切符を発行することになっていますので、その場で罰金を支払うことのないよう注意してください。

（９）水難事故対策

サモアではこれまでに、日本人旅行者が水難事故で亡くなったケースが発生しています。遠浅のビーチでも、場所によっては潮の流れが速いこともありますので、十分な注意が必要です。

海辺で遊ぶときには、以下に記載した注意点をご留意いただくようお願いします。

【海岸での注意点】

- 海に入る前に当日の天気予報や波の状況を確認し、不安があれば泳がないでください。
- 離岸流※に注意しましょう。
- 地元の方から、泳ぐ場所での注意点を事前に確認するようにしてください。
- 海で遊ぶ時には複数人で行動し、砂浜などで休憩中の方は海に入っている仲間を注意して見守りましょう。
- 飲酒後や体調の悪い時には、海に入らないでください。
- 海に入る時は、沖へ流されないよう、周囲を観察しながら遊びましょう。
- カヤックを含め船に乗る時は、ライフジャケットを着用してください。
- ビーチや海ではマリンシューズを履きましょう。

※離岸流－海岸に打ち寄せた波が沖に戻ろうとする時に発生する強い流れ

（１０）テロ・誘拐対策

サモアでは、反政府武装組織やイラク・レバントのイスラム国（ＩＳＩＬ）等のイスラム過激派等の国際的テロ組織の活動は確認されていません。また、身代金目的の誘拐事件や外国人を標的とした誘拐事件発生も確認されていません。国民の大多数がキリスト教を信仰し、宗教間の対立もなく、また国民の９割が同じ民族（サモア人）のため民族間の対立もありません。

4 緊急連絡先等一覧

警察	9 1 1 (+685) 2 2 2 2 2
消防・救急	9 1 1 (+685) 2 0 4 0 4
国立病院（ウポル島）	(+685) 2 1 2 1 2
ツアシビ病院（サヴァイイ島）	(+685) 5 3 5 1 1
在サモア日本国大使館	(+685) 2 1 1 8 7

5 緊急時のサモア語

緊急時には、サモア語（英語）の空欄（●）に伝えたい内容を書いて相手にみせることで、意思を伝えることができます。

（日本語） 私は日本人です。 名前は （名前） といいます。

（英語） I' m Japanese. My name is ●●●●●●.

（サモア語） O a'u o le Iapani. O lo'u igoa...

（日本語） 私は（宿泊先） に泊まっています。

（英語） I' m staying in ●●●●●●.

（サモア語） Oute nofo i...

（日本語） 私を（目的地） まで連れて行ってください。

（英語） Please take me to the ●●●●●●.

（サモア語） Faamolemole, ave a'u i...

（日本語） （電話番号）まで電話をかけてください。

（英語） Please call the number ●●●●●●.

（サモア語） Faamolemole vili le numera...

（日本語） 警察を呼んでください。

（英語） Please call the police.

（サモア語） Vili leoleo faamolemole.

（日本語） 救急車を呼んでください。

（英語） Please call the ambulance.

（サモア語） Vili le ta'avale a le falema'i faamolemole

（日本語） 病院に連れて行ってください。

（英語） Please take me to the hospital.

（サモア語） Ave a'u i le falema'i faamolemole

【メモ欄】

III 緊急対処マニュアル

1 平常時の準備

(1) 大使館への届け出

① 在留届

3か月以上当地に滞在される方は当館まで在留届の提出をお願いします。(こちらは、[オンライン在留届](#)から届出可能です。)

また、届出内容に変更がある場合、及び帰国の際にもその旨ご連絡ください(在留届は旅券法で提出が義務づけられています。)

② たびレジ

3か月未満の短期滞在の方は、滞在予定を登録するシステム「[外務省海外旅行登録\(たびレジ\)](#)」がありますのでご活用下さい。本登録を行うことで、当館からの最新の安全情報をメールで確認できる他、緊急時には安否確認に利用されます。

2 緊急時の行動

(1) 災害時には、日本の家族や関係者からの安否確認がある可能性があります。できるだけ早く、ご自身の無事を知らせてください。

(2) 自分や自分の家族、または他の邦人の生命・身体に危険が及ぶ、またはその恐れがある場合は、その状況を当館までご一報ください。

3 緊急事態に備えてのチェックリスト

項目	ポイント
旅券、運転免許証等の身分証明書	○ 残存有効期間を確認(1年未満は、旅券切替(更新)の手続を) ○ 新生児等で旅券を持っていない場合は、戸籍等の関係書類が整い次第、早めに旅券を取得する。 ○ 旅券最終ページの「所持人記載欄」(2020年2月以降発行の旅券は「緊急連絡先欄」)の記入もお忘れなく ○ このほか運転免許証等の身分証明書も常に携行、あるいは、すぐに持ち出せるように準備する
現金、クレジットカード等	旅券と同様にすぐに持ち出せるような場所に保管する
自動車、バイク	○ 日常的な車両の点検・整備 ○ 常に十分な燃料を補給しておく ○ 懐中電灯、地図、バッテリー用ブースター等を車両に常備しておく ○ 車を所有していない場合、いざという時に備えて、あらかじめ知人等に避難時について相談しておく。

携行品 (上記の他、避難場所での待避の際の準備品)	○ 衣類、着替え ○ 防水、防寒着 ○ 履物（運動靴など、身動きがとれやすいもの） ○ 洗面道具（タオル、歯磨きセット、石けん等） ○ 寝袋 ○ 非常用食料等 - 家族全員が最低 3 日間(理想は 10 日間)程度生活できる量を ・ 米（アルファ米等の火を使わずに食べられるもの） ・ 缶詰類 ・ インスタント食品（加熱せずに食べられるものがよい） ・ 粉ミルクやビスケット等の保存食 ・ ミネラルウォーター ・ 水筒（容量の多いタイプが望ましい） ○ 医薬品等 - 家庭用常備薬の他、常用薬、外傷薬、消毒用石けん、衛生綿、包帯等 ○ 情報収集・通信手段 ・ 現地放送聴取用 AM・FM ラジオ ・ 短波ラジオ（NHK 国際放送、BBC 等の短波放送聴取用） ・ ラジオ用予備電池 ・ 携帯電話用モバイルバッテリー ○ 照明・火器類 - 懐中電灯・予備電池、ライター、ろうそく、マッチ ○ 調理・食事用品 - 缶切り、栓抜き、ナイフ、紙製の食器、割り箸、簡単な炊事用具 ○ 防災用品 - ヘルメット、防災頭巾（代替品として椅子用クッション等も可）
連絡先リスト	電力が確保できないときを考慮し、電子媒体(携帯電話の電話帳など)のほか、紙に印字等したものの用意もお勧めします。